

平成27年度

橋梁技術発表会及び講演会

参加費無料
定員 **250** 名
申込先着順

会場 レソラNTT夢天神ホール5F
〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-5-55
Tel.092-781-8888

平成27年

日時 11 / 27 (金) 13:00~16:50

13:00~13:10 **開会の辞** 一般社団法人 日本橋梁建設協会
会長 石井 孝

13:10~13:25 **橋建協報告** 広報委員会

第1部:技術発表会

13:25~14:05 **1.頭付きスタッドを用いた
鋼-コンクリート接合部の
耐力評価に関する解析的研究**
設計小委員会 設計部会 楠田 広和

14:05~14:15 **休憩**

14:15~14:55 **2.鋼橋解体撤去工事の留意点**
架設小委員会 架設部会 越中 信雄

14:55~15:35 **3.ベトナム:ニャットン橋の建設工事
~東南アジア最大級の6径間連続合成斜張橋の建設~**
海外事業展開特別委員会 松野 憲司

15:35~15:45 **休憩**

第2部:特別講演会

15:45~16:45 **道路メンテナンスに関する話題**

国土交通省九州地方整備局
道路部長
土井 弘次



16:45~16:50 **閉会の辞**
橋梁技術発表会 実行委員会 副委員長 竹中 裕文

申込方法

- ① Fax. 092-475-6255 (裏面の用紙に記載)
- ② ホームページ(URL) <http://www.jasbc.or.jp/>
の「技術発表会申し込み受付」まで(受付は9月下旬から)

申込期限 平成27年11月13日(金)

連絡先 一般社団法人 日本橋梁建設協会 九州事務所
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-1
(日本生命博多駅前ビル)日立造船内 Tel. 092-475-6255

継続教育 CPDS認定予定

※東京地区は 10月 9日(金) 銀座プロッサムホール
大阪地区は 10月16日(金) ドーンセンター
北海道地区は 10月23日(金) 北海道経済センター
東北地区は 11月 6日(金) 仙台国際センター
中部地区は 11月13日(金) 東建ホール 開催です。
申し込み等詳細はホームページでご確認願います。

技術発表会(第1部)の発表原稿のPPT及び論文はホームページに掲載しますので、ご希望の方はダウンロードしていただくようになります。

アクセス



- 西鉄福岡(天神)駅から徒歩2分
- 地下鉄空港線天神駅から徒歩5分
- 地下鉄七隈線天神南駅から徒歩5分
- JR博多駅から天神まで地下鉄で5分
- 福岡空港から天神まで地下鉄で11分
- 天神バスセンターから徒歩3分

技術発表会概要

1 頭付きスタッドを用いた鋼-コンクリート接合部の
耐力評価に関する解析的研究 ―

橋台部ジョイントレス構造の鋼桁と鉄筋コンクリート橋台接合部(鋼-コンクリート接合部)のずれ止めとして一般的に用いられる頭付きスタッドは、曲げモーメントを受ける部位での耐力特性が不明であり、地震時挙動に対する知見や具体的な照査方法は確立されていない。本発表では、鋼-コンクリート接合部を対象に、その抵抗特性の把握、要求性能を満足させる照査方法および構造細目の確立を目的に実施した試設計と3次元弾塑性解析について報告する。

2 鋼橋解体撤去工事の留意点

築後50年を経過する鋼橋が急増しつつあり、設置された環境と管理状況によっては損傷が激しく、補修を行っても要求性能が満足しない鋼橋もある。このような鋼橋については解体撤去となるが、損傷している鋼橋を切断し吊り上げるため、慎重な対応が必要となる。

ここでは、解体工法の選定方法例を提案するほか、具体的な事例をもとに解体の基本となる応力解放や部材切断作業時の安全施工上の留意点についてのべる。

3 6径間連続合成斜張橋(ベトナム・ニャットン橋)の施工報告 ―

ニャットン橋は、ベトナム国ハノイ市中心部からノイバイ空港を繋ぐ環状2号線の一部として、紅河に架かる橋梁で、ベトナム北部地域の物流の効率化と交通渋滞緩和を目的に、日本のODA(STEP:本邦技術活用条件)により建設された。

本橋は紅河上に架かる1,500mの6径間連続合成斜張橋の主橋と1580mのPCスーパーT桁とPC箱桁構造の取付け橋を含む全長3,080mの橋梁である。

本発表では上部工工事のうち世界的にも珍しい形式である6径間連続合成斜張橋の主橋部工事について報告する。

特別講演会

道路メンテナンスに関する話題

土井 弘次

国土交通省九州地方整備局
道路部長

一略歴―

昭和63年 3月 京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻卒
昭和63年 4月 建設省入省
平成 3年 4月 建設経済局建設機械課係長
平成 4年10月 道路局国道第二課係長
平成 6年 4月 四国地方建設局松山工事事務所調査課長
平成 7年10月 四国地方建設局道路部道路計画第一課長
平成 9年 6月 インドネシア共和国JICA長期専門家
平成12年 6月 道路局企画課課長補佐
平成14年 4月 中部地方整備局静岡国道工事事務所長
平成16年 4月 道路局企画課企画専門官
平成18年 4月 神奈川県県土整備部参事
平成19年10月 西日本高速道路(株)建設事業部調査役
平成21年 7月 関東地方整備局東京国道事務所長
平成23年 5月 道路局高速道路課有料道路調整室長
平成24年 4月 道路局国道・防災課道路保全企画室長
平成25年 9月 独立行政法人日本高速道保有・債務返済機構企画部長
平成27年 7月 九州地方整備局道路部長

講演概要

日本には約70万橋程度の橋が供用されており、その多くは戦後の高度経済成長期に建設され、既に供用から50年が経過するなど、膨大な数の橋梁の老朽化が着実に進み、その対応が必要不可欠となってきた。

今後老朽化してゆく橋梁について効率的に点検→診断→措置→記録→点検のメンテナンスサイクルを構築し、適切な維持管理を行うことが重要である。

本講演では、これら道路メンテナンスに関する話題について講演する。

FAX番号:092-475-6255

平成27年度

11月27日(金)

橋梁技術発表会

[九州地区]

参加申込書

所 属

団体名

所属

氏 名

役職

氏名

住 所

〒

電話番号

FAX番号

E-mail

前回参加の有無 有 ・ 無